

藝文協だより

第236号

平成28年1月
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441-8635(内線123)

第59回理事会 平成28年度事業計画案を承認



一般社団法人富山県芸術文化協会の第59回理事会は、平成27年12月16日(水)、ANAクラウンプラザホテル富山3階「鳳」において、村椿晃県生活環境文化部長、清原明宏県生活環境文化部長、事務局長幹事18名など、あわせて約110名が出席し、開催しました。

平成28年度事業計画案と予算案の骨子に続いて、平成27年度事業経過報告が審議され、いずれも承認されました。国際交流事業では、5月の日韓友好交流事業、7月の第27回ペーラ・バルトーク国際合唱コンクール派遣事業、8月のこどもバレエ遼寧省派遣事業、10月の富山県・遼寧省友好写真交流展2016をはじめ、ハンガリー・バラトン美術キャンプ派遣事業、ハンガリー・ハイドウサーグ国際アートキャンプ派遣事業を行う予定です。

「とよま舞台芸術祭2016」は、利智芸術公園・新利賀山房で10月2日(日)に「全日本地域選抜モダンダンス・ガラ・イン利賀2016」と10月10日(月・祝)に「日舞・洋舞・邦楽公演」を、12月4日(日)には富山県教育文化会館でオペラ公演「空地蔵」他の開催を予定しています。

また恒例の、第22回富山県いけばな公募展(7月上旬)、第65回富山県芸術祭(6月～平成29年2月)、第41回富山県青少年美術展(9月中旬)、第39回富山県こどもフェスティバル(11月下旬)、芸術鑑賞、芸術文化指導者招へい事業をそれぞれ実施します。

この他、受託事業として、例年開催の県民芸術文化祭2016総合フェスティバル、県民ふれあい公演、中央通アートプロムナード及びびほくぎんアートギャラリーに加えて、昨年から始まったほくぎんアートプロムナード一番町が開催されます。

共催事業としては、第71回富山県美術展(6月上旬)、美の祭典 越中アートフェスタ2016(11月中旬)を開催します。

また今年度は、夏に「とよま世界こども舞台芸術祭2016」を開催します。

第38回富山県子どもフェスティバル

第38回富山県子どもフェスティバルの展示を、平成27年11月28日(土)30日(月)に富山県民会館にて開催しました。展示部門には、児童画393点、書653点、写真16点、童画14点の応募があり、来場者の目を惹きつけました。文芸部門には、創作童話12点、詩19点、短歌41点、俳句831点、川柳11点の応募がありました。



展示部門 海外からの特別展示

海外からの特別展示として、ハンガリーのハイドウゥビハール県・ハイドウナーナージュ、中国の遼寧省・上海、韓国の江原道、ロシアの沿海地方、バーレーン、アメリカのオレゴン州、ブラジル、リトアニアの子どものたちの児童画137点と、エクアドルやエジプトなど11か国から寄せられた児童画41点もあわせ、計18か国178点の児童画が展示されました。また、ハンガリーのハイドウゥビハール県・ハイドウナーナージュ、韓国、オーストラリア、ベルギー、アメリカの子どものたちからは創作童話15作品が特別に寄せられました。



展示会場でも披露された人形劇公演

平成27年11月29日(日)には、富山県教育文化会館で展示部門を開催しました。県内14団体の子どもたちによる器楽、洋舞、民踊、詩吟、剣詩舞、日舞が披露されました。また、今年の特別公演は、ハンガリーのヴォイティナ人形劇団による「バトウォーターの冒険」が披露されました。軽快なギターの生演奏に合わせて舞台が展開され、観客を楽しませました。終演後には、ヴォイティナ人形劇団に金メダルが、県内の出演者の中から15名には奨励賞が芸文協吉田泉会長より贈呈されました。なお、展示部門・文芸部門大賞受

賞者、展示部門奨励賞受賞者は次のとおりです。

【大賞】受賞者(敬称略)

◎展示部門

(児童画) 吉野 亜依
(書) 米多 絢音
(写真) 眞能浦 妃花
(童画) 川端 真帆

◎文芸部門

(創作童話) 山森 和子
(詩) 酒井 優武
(短歌) 歌街道 眞葉
(俳句) 海洋 音羽
(川柳) 柳 該当者なし

◎奨励賞】受賞者(敬称略)

◎展示部門
荒瀬 晴音 安達 智香
岩井七乃子 油田 夕佳
広岡 綾 朝倉ヒマリ
瀧本みのり 西村 里珠
浦上 純奈 尾島 耀子
笠原 由菜 金谷 百花
殿村 知聖 二日市光希
山崎 芽衣



黒川邦楽院

美の祭典 越中アートフェスタ2015

平成27年11月21日(土)25日(水)まで、富山県民会館美術館と展示室、ギャラリー、ロビーにて今回で10回目となる「美の祭典 越中アートフェスタ2015」を開催しました。

ジャンルの垣根を取り払った平面と立体の2部門制の本美術展は規格の制限がないことから、大きさに縛られず自由で多彩な作品が寄せられ、中には5メートルを超える作品もありました。

今回は平面部門で395点、立体部門で67点、合わせて462点の作品応募があり、審査員による厳正な審査の結果281点が入選しました。

平面部門は、氷見安正氏の「タイムワープ」が、立体部門は、藤



原寛太郎氏の「古道」が大賞を受賞し、県知事賞と北日本新聞社長賞などが贈られました。表彰式後には、受賞者によるクロストークが行われ、会場は多くの人で賑わいました。

また期間中には、子どものための絵画ワークショップなど、多彩な交流事業も実施し、絵画ワークショップでは、大谷弓子県児童美術研究会会長の指導のもと県内4つの保育園児らが共同制作に励みました。

21日25日までの本展には1万1050人が来場しました。また会期終了後の巡回展では、県内3会場で主な入賞作品を展示しました。



子どものための絵画ワークショップ

追悼 芸文協名誉会員佐伯彰一先生ご逝去

文芸評論家で、芸文協名誉会員の佐伯彰一先生が1月1日に逝去されました。佐伯先生は立山町芦峯寺の神職の家に生まれ、東京帝国大学(現東京大学)英文科を卒業後、アメリカ留学を経て、東京大学教授などを長きにわたって務められました。また、客員教授としてアメリカ

文化研究、作家の三島由紀夫の研究でも知られると同時に、世田谷文学館など数々の文学館の館長を歴任されました。日本文芸家協会、日本ペンクラブの役職も務められました。前述のように、三島由紀夫や遠藤周作などの当代一流の小説家とも深い交流を結んでおられました。

やカナダの大学でも教壇に立たれました。晩年は神道を中心とした日本人の宗教的心情にも関心を広げられました。

「物語芸術論」で読売文学賞、「自伝の世紀」で芸術選奨文部大臣賞を受賞されています。富山県の芸術文化の振興と発展に多大なご貢献をいただきましたことに深く感謝いたしますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

郷土のためにもご尽力され、芸文協主催の「とよま文学賞」の選者(1993年から7年間)を務め、また、立山博物館の名誉館長でもありました。

平田純芸文協名誉会長、吉田泉芸文協会長も佐伯先生のご薫陶を受けています。

日米の現代文学や自伝を通しての比較



平成27年度 芸術文化指導者 招へい事業

【オペラ部門】

(申田淑子プロデューサー)

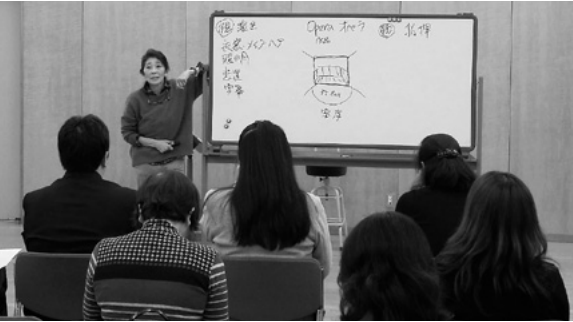
12月19日(土)～20日(日)

富山市民芸術創造センター

講師 恵川智美先生(演出家)

「演出家による舞台に立つための演技講座」と題し、初日はソリストを中心に、二日目は県オペラ協会合唱団を対象に開講しました。

舞台装置や音響など、舞台の様々な役割の解説や、実践的な実技の指導などをして頂きました。



平成27年度(芸術鑑賞) 劇団スイセイ・ミュージカル「クリスマス・キャロル」

平成27年12月4日(金)に平成27年度芸術鑑賞劇団スイセイ・ミュージカル「クリスマス・キャロル」を富山県民会館にて開催しました。

「クリスマス・キャロル」はイギリスのチャールズ・ディケンズによって書かれた小説で、作品発表から150年経った今でも世界中で愛されている人気の作品であり、今回は劇団スイセイ・ミュージカルによって躍動感あふれるミュージカルとして上演されました。劇団スイセイ・ミュージカルによる公演は、平成19年の芸術鑑賞以来7年ぶりでした。

主演のスクルージ役には俳優の川崎麻世氏、スクルージの親友のマーレイ役には劇団の看板俳優の吉田要士氏、また、昨年ご逝去された川島なお美氏より舞台を引き継いだ女優の渡辺めぐみ氏はスクルージの過去の婚約者イザベラ役をはじめ様々な役を演じ分けました。

舞台はロンドンの下町。クリスマスが大嫌いな初老の守銭奴スクルージの前に、7年前に亡くなったかつての同僚のマーレイの亡霊が現れた

ことよって、自分の過去を見つめ直し、人生で何が大切に気付かされるスクルージの心情の変化が描かれました。ポップでコミカルなやり取りに笑いが起こる場面や、シリアスな演技に見入ってしまう場面など、次々と舞台が展開し、終幕では観客から盛んな拍手が送られました。



平成27年度県民ふれあい公演

11月30日(月)に学校法人清泉学園
いずみ幼稚園と学校法人高岡第一
学園附属第三幼稚園においてハン
ガリーのヴォイティナ人形劇団に
よる人形劇「バトウターの冒険」
が行われました。陽気なギターの
生演奏と躍動感ある人形の動きに
園児たちは夢中になって見ていま
した。日本では容易に手に入る水
は国によって入手困難であるとい
う社会テーマを人形劇で表現し、
見た人に考えさせる内容になって
いました。

12月6日(日)の南砺市城端伝統芸
能会館「じょうはな座」では劇団文
芸座と可西舞踊研究所が出演。演
劇公演では谷井美夫氏が「とら皿」
を熱演。ユーモアたっぷりのひと
り舞台上に会場は笑いの渦に包まれ
ました。洋舞公演では、可西舞踊
研究所が「森の舞踏会」や「富山に
伝わる三つの民謡」など、オリジ



12月6日 南砺市城端伝統芸能会館

ナリティーあふれる作品を披露
し、観客を魅了しました。

12月11日(金)学校法人藤園学園龍
谷富山高等学校では、能楽と詩吟



12月11日 学校法人藤園学園龍谷富山高等学校

剣舞の公演を開催。能楽公演では、
最初に富山県宝生会の山崎健氏が
能楽について解説し、理解を深め
た後に舞囃子「船弁慶」を鑑賞。生
徒たちは能楽の奥深い世界を堪
能しました。詩吟剣舞公演は、(公
社)富山県岳鳳会一声吟詠会と渋
川流剣詩舞道天水会の合同公演
で、俳句や古事記などを歌った吟
詠の他に、吟詠に合わせて剣舞を
舞う「春望」などを披露しました。

12月12日(土)は、滑川市立早月中
学校において邦楽と日本舞踊の公
演を行いました。邦楽公演では西
村雅楽仁社中(弥生乃会)と尺八の



12月12日 滑川市立早月中学校

山崎倭山氏により、二六段の調や
「さくら」などが演奏され、箏と尺
八の美しい音色が会場に響き渡り
ました。日本舞踊公演では、西川
扇城緒氏、藤間松山社中、藤間
藤紗枝社中が優雅に舞い、最後
の「千鳥」では、箏とのコラボレ
ーションでとても豪華な公演になり
ました。

12月24日(休)には社会福祉法人浦
山学園福祉会小杉西部保育園で大
正琴とオペラの公演を行いました
。大正琴公演では、宗家岡田
流大正琴富希がお揃いの衣装
で「アンパンマン」のマーチなどを
演奏し、園児たちは体を動かして
楽しんでいました。オペラ公演で
は、富山県オペラ協会が「アマ
ールと夜の訪問者」を熱演。園児た
ちは美しい歌声とピアノで織り成



12月24日 社会福祉法人浦山学園福祉会小杉西部保育園

すオペラの世界に引き込まれて
いました。

12月25日(金)の社会福祉法人市野
瀬福祉会市野瀬保育園では、富山
県立新湊高等学校吹奏楽部が吹奏
楽の演奏を披露。クリスマスにち
なんだ曲やアニメの曲が演奏さ
れ、楽しい雰囲気の中、会場はと
ても盛り上がりました。



12月25日 社会福祉法人市野瀬福祉会市野瀬保育園

訃報

華道家で芸文協事務局参
与の桜井星陽先生が、平成
27年11月にご逝去されまし
た。

生前、富山県の芸術文化
の振興と発展や芸文協の事
業に対して多大なご貢献を
いただきました。
ここに深く感謝いたしま
すとともに、ご冥福を心か
らお祈りいたします。

もよおしの記録と案内

2016年こどもが描いた千支の絵
展覧会

1月22日(金)～24日(日)

大谷芸術交流館

びゅめんぶろじえくと公演

2月6日(土)～7日(日)

フォルツァ絵曲輪

第23回春を生ける北日本いけばな展

2月25日(木)～3月1日(火)

高岡大和4階催事ホール

第13回フォトグループ「華」作品展

3月5日(土)～3月13日(日)

滑川市立博物館3階 企画展示室

第30回富山県社会人吹奏楽フェス
ティバル

3月6日(日)

オーバード・ホール

第65回富山県書道連盟展

4月1日(金)～3日(日)

富山県民会館地下展示室

第41回亜細亜現代美術 富山支部展

4月15日(金)～18日(月)

富山県民会館美術館A